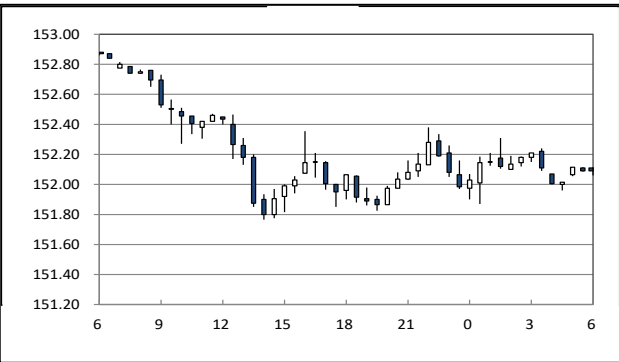


【昨日の市況概要】				公示仲値	152.54
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	152.70	1.1650	177.79	1.3345	0.6559
SYD-NY High	152.81	1.1669	177.79	1.3368	0.6590
SYD-NY Low	151.77	1.1626	177.00	1.3248	0.6545
NY 5:00 PM	152.09	1.1651	177.23	1.3271	0.6586
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	47,706.37	161.78	日本2年債	0.9300%	▲0.0100%
NASDAQ	23,932.00	190.04	日本10年債	1.6400%	▲0.0300%
S&P	6,890.89	15.73	米国2年債	3.4888%	▲0.0070%
日経平均	50,219.18	▲ 293.14	米国5年債	3.6087%	▲0.0011%
TOPIX	3,285.87	▲ 39.18	米国10年債	3.9757%	▲0.0106%
シカゴ日経先物	50,785.00	325.00	独10年債	2.6211%	0.0049%
ロンドンFT	9,696.74	42.92	英10年債	4.4000%	▲0.0005%
DAX	24,278.63	▲ 30.15	豪10年債	4.1790%	▲0.0100%
ハンセン指数	26,346.14	▲ 87.56	USDJPY 1M Vol	8.43%	0.22%
上海総合	3,988.22	▲ 8.72	USDJPY 3M Vol	8.88%	0.07%
NY金	3,983.10	▲ 36.60	USDJPY 6M Vol	9.07%	0.02%
WTI	60.15	▲ 1.16	USDJPY 1M 25RR	▲0.83%	Yen Call Over
CRB指数	298.96	▲ 2.58	EURJPY 3M Vol	7.53%	▲0.02%
ドルインデックス	98.67	▲ 0.12	EURJPY 6M Vol	8.01%	▲0.03%

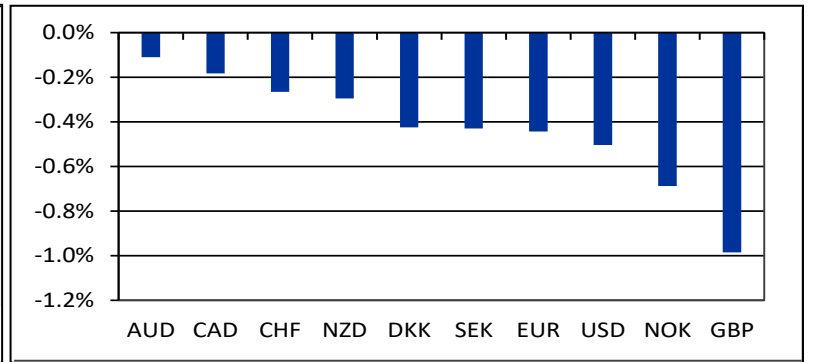
東京	東京時間のドル円は152.70レベルでオープン。じり安となる中で午後にベッセント米財務長官と片山財務相が前日の会談で為替について協議したと伝わると一段安となり151.77まで下落。その後は小幅に反発し151.99レベルで海外へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、151.99レベルでオープン。東京時間の売りが一服し、反発を交えながらレンジ推移し結局152.04レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は米金利の上昇と共に、152.37レベルまで買われる。続いて発表された米10月コンファレンスボード消費者信頼感指数が予想を上回るも、一段のドル買い材料とはならず。その後は上昇していた米金利が上昇幅を縮小する動きが上値を抑え、151.86レベルまで反落。午後はイスラエル軍に関する軍事作戦再開のヘッドラインが伝わると、リスクオフのドル買いからその後152.09レベルでクローズした。一方、ユーロはオープン直後に1.1626まで値を下げる場面もあったが、その後は米金利の低下に伴ったドル売りを背景に1.1669まで反発する。午後は1.1660付近を中心とした狭いレンジ推移が続き、1.1651でクローズした。

【昨日の指標等】						
Date	Time	Event		結果	予想	
10月28日	23:00	米	コンファレンスボード消費者信頼感	10月	94.6	93.4
【本日の予定】						
Date	Time	Event			予想	前回
10月29日	09:30	豪	CPI(前年比)	9月	3.1%	3.0%
	21:30	米	卸売在庫(前月比)・速報	9月	-0.2%	-
	23:00	米	中古住宅販売仮契約(前月比)	9月	1.5%	4.0%
10月30日	03:00	米	FOMC政策金利(上限／下限)	29-Oct	4.00％／3.75%	4.25％／4.00%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	151.50-153.00	1.1640-1.1680	176.70-178.00

【マーケット・インプレッション】

昨日は、ベッセント米財務長官が片山財務相との会談の中で、日銀の金融政策正常化に触れると円が買われ、その後も米政府の米ドル安趣向が意識され152円を割る展開となった。本日のドル円は方向感無く横ばいの推移を予想するが、昨日行われた日米首脳会談を受け、トランプ米大統領の米ドル安趣向が再度意識されつつ、本日NY時間に行われるFOMCにて利下げが確実視されている事がドル円の上値を抑えそう。